

# 保育雜感

千葉縣女師附屬幼稚園 渡 部 き よ

昨年四月園舎が新設されました(園舎設備等は先般御報告申上げました)私共の希望も入れられて設備品もあらかたミ、のひ二學期間の保育も無事に終わりました。新春を迎へて三學期の仕事を考へるご同時に二學期中の日誌をかへりみて反省して見る事も面白いご存じまして思ひのまゝをかきつらねて見ました。私の園での保育全體を通しての見方は又別の機會にゆづり今日は主として自分のたづさわつてゐる手技的方面からながめた一部分(しかも内容は重に二學期を中心とした御報告になります事をあらかじめおこころわりしておきます)を。

○  
一學期は園舎の不馴れご保姆の手少なごからまごまつた仕事の出來やう筈もなく私共は一學期中を通してのび

やかに朗かな氣持ちで幼兒に接近し一日も早く園舎並に團體生活に馴れさせるやう心懸けてまゐりました。保姆三名に約九十餘名の幼兒を收容してゐる私共の園では三組に編成はしておりますがたゞ食事時ごがおかへりの時ごか其の他便宜上一寸集る場所位に考へられて九十餘名の幼兒が遊びにより作業により自由に各室を使用して居ります。そして三組の室には(一室は日本間)整理戸棚をおいてそれご保育に必要な道具、材料等を入れて幼兒の手で自由に使用出来るし又整理させる様にいたしました。いつの間やら自然に作業によつて各室内の遊びに別れ、保姆の興味を中心も又それご別れて一種異つた保育の形式を取つてまゐりました。しかし私共ごしては割合に都合よく幼兒の遊びの様子をながめても大變具合よく見受けら

れました、願くばもう二人位専任の保姆が居ればほんきに都合よいと思はれましたがそんな釐澤も云へませんので七人の實習生保姆科生徒のまゐります時間を利用してまゐりましたが時々は無理も生じた様思はれます。園舎の新築で自然に私共の頭も變りこれが丁度よく新學期であつたために三十餘名残つて居つた幼児を利用して一學期の間にすつかり園の生活に馴れさせてしまふ事が出来まして保姆にまゐりましても以前よりはるか仕事が仕安く、又

幼児からながめてもいまゝで見られなかつた全園舎を我ものさして振りまふ事の出来る自由さ、しかも日々の生活の有様がほんきに幼児中心ミなる事が多くなりました。又、全園児を通じての親しみ、大きい幼児ミ小さい幼児の接觸の有様、三人の保姆に接する幼児の態度等ほんきに具合よくまいりました。作業の方面などはここに具合よく運んで粘土細工等は少しの道具でしかも一人／＼澤山の材料を持つて氣持よく作業し次から次へとお友達が入れかわつて私は一日中エブロン姿で立たされた事も御座いました。ここに一番大事な保姆等の氣持もびつたり合つてか

ぐやかしいまでに明日が楽しまれた事も御座いました。これはかへつて保姆の人数の少い事が効果あつたかも知れませんがこんな具合で一學期は保姆幼児共に新しい生活がめづらしく夢中になつて遊びつゞけてしまひました。

○

大いに希望を持つた二學期の計畫について考へて見ました。秋の初めは出来るだけ郊外に連れ出して自然にも親しみ身體的にも考へてやり度いし、切角園の生活になれ、すべてに安心出来る二學期には出来るだけ大きな仕事、しかも計畫的な團體的合作もやつて見たい。しかし運動シーズンだもの運動的な遊びここに競技の様なものを考へてやり度い。等次から／＼へミ要求が出て來て、自分ではぎれから、又何から仕出してよいやら不用意にもあやふやのうちに二學期を迎へてしまひました。ミころが二學期を始めて二日目にはからずも幼児等から第一の仕事をお教はつたのです。それはデバートの建設でした。私共が講習會で造りかけた小さなデバート(ボール箱製)を完成して二組の室に飾つておいたミころ早速それを使用し

て積木やら其の他の材料で賣買ひ遊びが一部分の幼児で始められ、しかも大勢の幼児が買ひに行くのでした。ほんまに考へて見れば千葉のこの小さな市内に僅か三四ヶ月の間に五ヶ所もデパート式の建物が出来上り幼児等の頭にも新しい商店の様子がはつきり頭に入りしかも一種の興味さへ持つていろいろ話題にもものぼつてゐる時だつたのにさうして自分は早く氣がつかなくなかつたかしら？しかし實のまゝころ自分の頭にも製作方面の計畫の一つとして考へては居たのでしたがこんなにも接近してゐるものは氣がつかずいづれ年末の大賣出しの時にでもこのんきな事を考へて居た自分が恥しくなりました。そして早速その日から設備について考へて見ました。さうせ造るなら出来るだけ大きなものを材料をあつて見たまゝころ思ひがけない費用でそれも出来ず結局机の上に乗せられるやうに間口三尺五寸餘高さ奥行共に二尺五寸餘の小さなものでした、一寸角の柱を骨組みにして天井を後面を一番厚いボール紙で貼り天井を兩側面の上だけ窓を開けてセロハンを貼りガラス障子の感を出しました、全體を桃色のエ

ナメルでぬりつぶし入口は兩側を正面の三ヶ所にして天井の内側はバラの花紅葉の在のつなぎ等で裝飾して最初三軒の店を造りました(各々の店は赤のシモンズで陳列臺を造り)「オモチャヤ」「セトモノヤ」「ゴフケヤ」の看板を上からつるし、兎に角建物だけに一週間かゝつて保姆を實習生が中心になつて造り上げました(費用は木材が特別で六十錢、ボール紙が一枚で五十錢、其の他エナメルミカセロハンミカ細かいもの全部で約貳圓ばかり)自分の計畫した事から見れば随分貧弱なものでしたが幼児等の背丈から見れば丁度よく大きな建物に見へたのでせう。一日一日の形のミユのつて行くのを眺めて大喜びでした(ユキガミデパート、オオウリダシ」等の名前を入れて店の内部を飾る商品ミカ又屋上庭園を造りたい等いろいろ約束やら相談やらましまりました(天體の計畫は自分でしておきましたが)そして保姆共に大變な意氣込みでした、幼児の製作についてはいつも片よつて困りますので今度は誰もが同じ仕事に手をつけるやう(自由な製作は別として)室の一隅に幼児名を起しておいて(但し年長組のみ)一つの仕事にたづさわ

つた時しかも保姆の目の届いた幼児のみを其の度々に印付けて行きました。きれいな小さい丸の剪紙を貼つてまゐりましたので幼児等は自分の名前の下がきれいになつて行くのを見ては又一つの喜びを感してゐた様見受けました、こんな風にして保姆と實習生との連絡を取り具合よく

まゐりました一週間のうち一人の幼児が四回位の仕事をした事になりました。最も毎回の様に仕事については喜んで居るものも御座いましたが、これらには自由に材料を與へて自由に振りまわさせておきました。年少組の幼児も始終仲間入りをして大きい幼児に手傳つてもらひながら造り上げてはお店にかざつて喜んで居りました。こんな具合で主にこの任にある私は午前中は殆んど室内の内に過してしまふ事が多くて一寸考へさせられましたが、相手の幼児には始終入れ變つて接してゐるし粘土細工厚紙細工の様な一寸時間のかゝるものは別として大抵二十分乃至四十分位で入れかわりして居りますので(他の自由製作にかゝつてゐる者は別)私だけが室内の内にさぐりこもつても差支ないと思ひこのまゝつゞけて行く事に決心して出来るだけ

考へて、出来上つたものは毎土曜日に賣出しをして一日がお土産に持ちかへるやう約束しました第一週に出来上つたものは次の通りで御座います。

一、オモチヤ屋

風車、お花(コスモスその他)(女兒)ボール紙の飛行機、

旗(男兒)

一、セトモノ屋

食器、花瓶類、蓄音機、レコード等(男女共に)

粘土細工は出来上つたものを一日おいてナンキャンニス又はエナメル等で彩色してやりましたので見違へる程きれいになりました、幼児にさせて見やうと思ひましたがどちらもねばり氣が強く材料も澤山ないのでやめて私共でいたしました。

一、ゴフク屋

帶、反物、モスリン、其の他和服洋服、エブロン等の簡單なものから入り、主として女兒の製作でした。

さてこんなものが出来上つて土曜日の賣行きを眺めましたところ案外なものぐうれてしまふので驚きました。私

共の目にきれいに見へたセトモノ等は割合に手が出ないで半紙を何分かに切つた小さな國旗が、又風車が飛ぶ様に賣れてしまつた事です。これを見ては作業の興味も出来上りに對する幼児等の心の表はれがよくわかりました。ここに男兒が造つた飛行機は古いボール紙を使ひほんき型になつてゐない様な物までうれてしまひました。さかく出来上りの形さか、しかもまごまりすぎたもの等を要求したがる私には大いに反省させられた事でした、第二回目からはこの飛行機式の創作的な物を澤山に、又なるべく形の大きなものを造つて見たいと思つて次の仕事を考へて見ましたがデパートが小さいのこ創作はほんの僅か五六名で他は殆んど模倣になつてしまひますので創作的のものは何回でも其のまゝ自由につけてやり他の幼兒の爲に又私共の仕事も考へて第二回目に店頭へ飾られた品々は次のものです。

一、オモチャ屋

お人形のいろく、箱のいろく（女兒）ラヂオ、自動車、

飛行機等（男兒）風車式になつた日の丸の旗（男女共に）

一、セトモノヤは相變らずのものでたゞ粘土細工としてチヅミ、ラヂオ、自動車等面白い物が出来上りました。

呉服屋も前こあまり變りなく出来上りましたので前の品は全部他へ片付けて新しく出来上つたものばかりでした一人が二個づゝ買へるだけなのでいろく目うつりとした様でしたが數を丁度よくしておきましたので殆んど賣切れてしまひました。第三回目は殆んど全部を自由な製作にまかせて粘土細工だけ果實屋に取りかへたいと思ひましたが、外へ出る事が多かつたり他の自由な製作に手がかゝつて準備をしてやる機會をなくし、いろく出来ませんでした、そこで又第一回のセトモノの殘品を出して前の店と同じにいたしました、しかし第一回から比べますと、この店にも種類の違つたものが多くここに全然幼兒の手になつた物が多かつたので大小様々デパートの中へ入りきれず兩側に机をならべ飛行機もかッラノ人形等は上につるして（保育室の）大がりのお店になりました、そして第三回目には三個も一人が買ふ事が出来て尙一層う

れしい様でした、第三回目の商品は一回、二回の品物ミ同じ物でも型ミか裝飾ミか大がかりなものになりました前には全然見られなかつたのはフラック、人形ミ、自動車、軍艦、乳母車等でした(前からの物をカメラにでもおさめておけばよかつたものを夢中で過してしまひ今更ながら残念に思つて居ります。

さて十月も半ば過ぎとなり六大學のリーグ戦で男兒の野球熱は大したものでした、あるものは製作的の事を喜ばないで鐵砲(木銃)をさかさに持つては五吋の毬をみごみに打ち、きゝおほえのルールを口にして面白そうな遊びがだんくゝ多くなりました小學校でも又家へかへつても道路、空地等なるミころでこの遊びミ見る私共も興味を持つて幼稚園の野球チームを二組造りました。子供用のバット、赤帽白帽を用意して年長組の幼兒等で遊ばせて見ましたミころなかゝ上手に出来るので(毬はやわらかいものを使用しました)私共も一生懸命でした、デバートの發展も考へてゐるのですがそろゝ商品の製作には行きつまつてゐるしあの「天高して馬肥ゆる……頃ぎうしてぢつミ

しておられませう、私共がアンバイヤになつてルールをおほへるやう小學校の試合ひを見に行くやらこゝに各家庭でも兄様達がやつてゐるしラヂオを通じて東京の様子もわかるのでこれからの幼稚園の野球熱は大したものでデバートミころではなくなりました。一部分の女兒まで應援に出るやうな時も御座いました。

しかし他の幼兒等のためにデバートも無理してつゞけて見ました。一部分は實習生にまかせて一週おきからうじて店を開いて經營をつゞけたわけです。ある時には前に残つたものを持ち出しては店を飾つて行きましたが幼兒等には土曜日がほんミに待たれるやうでした、この間に製作したものは殆んミ幼兒の自由にまかせて、相變らずの飛行機、青桐の葉のお舟、人形、ジュゾゴの首飾り腕輪、半紙半分へ自由に水採をほぎこした旗、菊の花等でした。

全園兒が一般に運動的にむいて、殆んミ一日を戶外で過した事もあり、又方々の運動會見物、蟲取り、木の葉拾ひ等で間たゝく間に十一月半ばになつてしまひました、しかしこの間に戶外へ出られない時を利用して女兒に(手長組

(刺繡毛糸)を初めておりました(十月下旬から)最初でしたから保姆の圖案によつて一つのナンキン袋を(きれいに洗濯してのばしたもの)二十名乃至三十名の幼児の手で仕上げてまゝご用の敷物を造らせました、三學期末までには幼児等の自由な圖案によつて大きいテーブル掛でも造りたいと思つて居りますが先づ手始めに二枚の敷物を約一ヶ月ばかりかゝつて仕上げました。

幼児の約束であつたデパートの屋上にはさうく手をかけてゐる時がなくなつて仕方なしに實習生の手で造りました(コンクリートの感じを出し窓のまわりには紙のくさをめぐらし植鉢、椅子テーブル、人形等をあしらひました)。

十二月の聲を聞いてあわてゝ暮の大賣出しの仕度に取りかゝりました、其の爲にいよくデパートを閉店して建物は一變してまゝご用の西洋館になりました。女兒の手になつた敷物を敷いていろくのセットも造る様に考へましたがこれも多忙の爲に出來ず悲しいかな未だに殺風景な一室で何のセットもなくキュービー其の他二三の人形

が淋しく坐り續けて居ります、時々幼児等の手で何かしらおかれてあつた様ですが夫れ等を氣にして何かかしてやるだけの餘裕もなく今日まで過した事がかへすぐも残念でなりません三學期になつたら心の内には考へて居りますが、先きにデパートで刷れてゐる幼児には大賣出しの製作は具合よくはかぎつて思つたよりたやすく十一種の物を全部では六百個に近い數だけ造り上げました。前の時と同じ様になるべく製作の方は圓満な行き方をする様心がけて、一週のうち三四日は製作の日に當てなくてはなりませんでした。出來上つたものは左の通りで御座います(形、製法等は略)

一、飛行機(前に幼児の創作になつたものを形を大きくして畫用紙に謄寫し造つたもの)

二、オメン(形大きさ全部幼児の自由にまかせましたので鐘遣、鬼(赤青)ノンキナ父さん、黒坊など大變面白いものが出來ました)。

三、きせかへ人形(三歳位の人形で着替へ帽子、其の他の附屬品を持たせました)。

四、フラク／＼人形（文部省の講習會で教へていただきましたもの）。

五、腕時計（畫用紙できり抜き金側時計に致しました）。

六、ハンドバッグ（畫用紙をクリーム色に染め毛絲の刺繡を一寸あしらひました）

七、お花（菊）

八、コマ（ボール紙製、マッチの軸の心）

九、勳章（花の部分は紙挟み、他は畫用紙）

一〇、バラシュート（うすい丈夫な紙に自由に水彩をほごし裁つて絲目を十二本つけました）

一一、風船（改良半紙の美濃判を正方に裁ち摺んで水彩をほごししたのもの）

以上の物を一人が五個づゝも買ひ、其の上に昨年四月小學校へ行つた一年生を招待して共に大喜びでした。

又私の園ではこの大賣出しと一緒に毎年の行事の様になつてゐる事は冬のお休みの時お土産として柳の枝に、つる、かめ、だるま、わかざり、羽子、羽子板等お正月にちなんだものを十種程さけて其の枝を持つてかへる事に

なつております。これは幼児の手になるのは一部分で後は商店から買入れたり又保姆、實習生などで造る事に致して居りますので今年も大賣出しの品物を造る頃から幼児等にも造らせそれ／＼用意しておきました。そして二十一日には全部出来上つて十九日が、大賣出し二十四日にはこのお土産を持つて大喜びでかへりました、そして多端だつた二學期も終へました。

○

この二學期中を考へますと自分の計畫はほんの一部分しか成す事が出来ないでしかも大部忙しく過した様に思はれて残念でなりません、又一面に幼児等の方から考へる割合にゆつたりした生活をして來た様にも考へられるのです、今までより遊び道具は整つたし幼児同志の自由な遊びが安全に出来る場所、時間等 相當に支へられてゐた様にも思はれるのです、一週間のうち私共の計畫に引き入れられる時はごく僅かな時間です。たゞ郊外へ出ることも、人形芝居、運動會頃の遊戯ミカ特別の場合をのぞいては殆んど自由な生活をしてゐる製作の時にも自然に無



理なく入り得て具合よかつた様に思はれます、しかし又作業の方から考へます時にあまりに一般的にいふ事を心配し過ぎてもう少し特種の者に大きな力一ぱいの仕事もさへ度かつた様に思はれるのですが何しても人手の足りない事を残念に思ひます。そして未だに疑問とし惱まして苦しんで居る事は、

一、ごこまで材料を豊富に與へたらよいものか？

ある幼児にはある機會にもつき／＼與へたい……が夫を見てゐて要求して來る幼児に與へ過ぎはしなかつたか？  
ごの程度で止めたがよいものやら……

二、ほんきに幼児の心的内容をしつかりみつかんで行くにはこうした全體的の取り扱ひはいけなしかしら？……  
又は今の計畫的な仕事とか作業とかに重きをおいてはゆつくり幼児に接してゐる機會がないので一手保育の場合、又こうした保育の形式を取つて行く場合、さうしたら圓滿な保育が出来るかしら……

この他遊戯とか唱歌とか觀察とか一つ／＼の項目について考へる時にも行きづまりを感ずるのみで結局はあぶ

はち取らずの事をやつてゐるのかも存じませんが要は私自身の努力と保育者の一致協力より他ない……感じて居ります。大抵の場合女性のみの仕事として外見のみは至極具合よく行つてゐる様に見受られるものゝ感情に走りやすい女性の常として組分けしてゐる保育者達にこだわり等生じた時にはほんきに幼児等はみじめなものだと思ひます。幸ひ私共はその點には恵まれて一寸の心配もなく又三學期が初められる事と思ひます。

終りに重ねておこまり申し上げます事は、今まで申上げました事は私の園全體の保育の内容では御座いませぬ、私以外の保母の方から見ましたら又違つた方面でお話出るると思ひます故さうぞ一部面である事をお含み下さいませ様お願いいたします。ここに言葉の云ひまわしもわるく御よみにくひ事存じましてお詫び申上げつゝ筆を止めます。(昭和七、一、三日迎の日に記す)